

とちぎの特別栽培農産物栽培管理計画書

確認機関名	塩谷アグリテック
計画提出日	30年1月30日
計画変更日	

生産者	杉山修一	品種名	コシヒカリ・夢ごち・新生夢ごち・みつひかり等
住所	栃木県塩谷郡塩谷町肘内742	ほ場	様式6-1-水稲早期参照
電話	0287-46-0741	栽培面積	125000 m <sup>2</sup>
作目・作型	水稲 早期栽培	収穫期間	9月10日～11月20日

(計画)

○作業内容 コシヒカリ・夢ごち、ゆうだい21、みつひかり、新生夢ごち等

単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起作業	29.10				ロータリー耕
カバークロープ播種	29.10.～				ロータリー播種機
レーザーレベラー	30.3.～				レーザー整地
有機質散布	30.3.上旬 ～30.4月	発酵鶏糞	70～1200kg		ブロードキャスター
種子消毒	30.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	30.4.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象農薬及び有機農産物の別表の2の農薬不使用培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル  1.5kg 0.6kg		10畝20枚換算  播種機使用床土下層に床土箱詰、発酵鶏糞散布、スリヤグアノ散布、床土表層箱詰め、散水、播種、覆土
発芽	播種後5～7日				育苗ハウス内に積み上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後～田植終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	30.3上～4月				ロータリー耕
水管理作業	30.4上旬～落水まで				軽トラック、1.5トン、2トン車等
代掻き作業	30.4上旬～5月中旬				代かきハロー
田植え作業	30.4下～5	ルーチン粒剤 化成14-14-14 シウハ1和粒剤	1kg 18kg 1kg	1回 2.52kg 2回	田植え機使用、薬剤及び肥料同時散布 植え付け坪あたり株数37～48株植え
除草剤散布	田植え後7～10日	ゴエモンジャンボ	0.4kg	3回	
土壌改良材流し込み	30.5下	海洋深層水1ヘルツ	0.1リットル		水口から流し込み
除草剤散布	30.6～7月	ワイドアタックSC	0.1リットル	1回	ブームスプレーヤーで散布
肥料散布	30.7上～8上	マグマリン スリヤグアノ	0.1kg 0.1kg		水口から流し込み
収穫、乾燥	30.9中～10上				自脱コンバインによる収穫及び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わせ順次調整				粗撰、粳すり、網目選、石抜き、色彩選、水分選、袋詰、特裁格付け、農産物検査以降出荷

○出荷量及びマーク使用枚数

出荷量 (kg)	認証マーク (リンク・ティ) の使用枚数				
	箱	袋	束	その他	合計
6 6 2 5 ( )		2 2 0 0 ( )			2 2 0 0 ( )

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	1 6	5 割減

窒素施用量 (kg / 10 a)		
窒素量	基準値	使用割合
2. 5 2	8	5 割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	インチアニル	3%
シウチ1キ粒剤	ブタクロール 5.0% ペントキザゾン1.5%	
ゴエモン®ジャンボ	イプフェカルバゾン8.33% イゾフルフロン 3.0% プロモバチド30.0%	
ワイドアタック SC	ペノキススラム	3.6%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
化成14-14-14	1 4

※ 窒素成分を含む化学肥料のみ記入

培土の名称 ※	1 箱当たり窒素施用量	10a 当たり使用箱数
関東農産無肥料培土	不使用	20 枚

※ 窒素成分を含む化学肥料を混合している培土のみ記入

実績 ○作業内容 コシヒカリ・夢ごち、みつひかり、新生夢ごち

単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起作業	29.10				ロータリー耕
カバークロープ播種	29.10.～				ロータリー播種機
レーザーレベラー	30.3.～				レーザー整地
有機質散布	30.3.上旬 ～30.4月	発酵鶏糞	ミツヒカリ及び 新生夢ごち 600kg それ以外は ゼロ		ブロードキャスター
種子消毒	30.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	30.4.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象農薬及 び有機農産物の別表の2の農 薬不使用培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル  1.5kg 0.6kg		10畝20枚換算  播種機使用床土下層に床 土箱詰、発酵鶏糞散布、 スリヤグアノ散布、床土 表層箱詰め、散水、播種、 覆土
発芽	播種後5～7 日				育苗ハウス内に積み 上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後 ～田植終了	水を保つためのシート 等 地下水			
耕起作業第3回目	30.3上～4月				ロータリー耕
水管理作業	30.4上旬 ～落水まで				軽トラック、1.5ト ン、2トン車等
代掻き作業	30.4上旬～ 5月中旬				代かきハロー
田植え作業	30.4下～5	ルーチン粒剤 化成14-14-14 シウハ1和粒剤	1kg 18kg 1kg	1回 2.52kg 2回	田植え機使用、薬剤 及び肥料同時散布 植え付け坪あたり株 数37～48株植え
除草剤散布	田植え後7 ～10日	ゴエモンジャンボ	0.4kg	3回	
除草剤散布	30.6～7月	バサグラン液剤	0.5リットル	1回	ブームスプレーヤーで散布
収穫、乾燥	30.9中～10上				自脱コンバインによる収穫及 び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わ せ順次調整				粗撰、籾すり、網目選、 石抜き、色彩選、水分選、 袋詰、特裁格付け、農産 物検査以降出荷

○出荷量及びマーク使用枚数

出荷量 (kg)	認証マーク (リンク・ティ) の使用枚数				
	箱	袋	束	その他	合計
6625 ( )		2200 ( )			2200 ( )

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
2.52	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	名
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
シナチ1粒剤	ブタクロール 5.0% ペンタキザン1.5%	
ゴエモン®ジャンボ	イフェンカルバゾン8.33% イマゾフルフロン 3.0% プロモブチド 30.0%	
バサグラン液剤	ベンタゾナナトリウム塩	40%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
化成14-14-14	14

※ 窒素成分を含む化学肥料のみ記入

培土の名称 ※	1箱当たり窒素施用量	10a 当たり使用箱数
関東農産無肥料培土	不使用	20 枚

※ 窒素成分を含む化学肥料を混合している培土のみ記入

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg / 10a)		
窒素量	基準値	使用割合
2.52	8	5割減

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備考
	農薬成分回数	窒素	
2018年9月7日小野崎勇治	7 回	2.52	
年 月 日	回		
年 月 日	回		

○特記事項

--